

会議の名称	令和6年度第2回合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議	
開催日時	令和7年2月19日 午前10時	
開催場所	合志市役所 1階 避難所①	
議 題	まち・ひと・しごと創生推進事業について	
会議の公開・非公開の別	公開 ・ 非公開 ・ 一部非公開 〔傍聴者なし〕	(一部) 非公開の場合、その理由
出席者	委員	坂梨徳昭、上田耕太郎、田中尚人、松原寿幸、岩井啓登(高橋遼太代理)、井上泰介(田中敦代理)、池永けい子、清原展彦、坂田由美子
	行政	佐藤美和、池田聡、山口直美、宮崎早香、鬼塚咲
欠席委員	永野典詞	
会長挨拶	田中尚人 委員(会長)	皆さんおはようございます。今日は第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議です。今はデジタル田園都市構想総合戦略と名前が変わりつつありますが、合志市の皆さんが生き生きと暮らしていくために戦略を整えていますので、皆さん活発なご意見をよろしくお願いいたします。
議事内容	①第2期合志市まち・ひと・しごと総合戦略の効果検証について	
	《委員の意見等(要旨)》	
	上田委員	基本目標2のKPI(重要業績成果指標)について、この数値は空き家バンクを經由して契約をした数値であって、実際には民間事業者で売買されたものもあるかと思う。KPIが空き家バンクの実数値になった理由はあるか。
	事務局 宮崎	担当課に確認したところ、この実績値には民間事業者を經由した実績は含まれていないとのこと。市では、民間の売買の実績まで把握することが難しく、把握可能な空き家バンクの数値を設定したが、本市の空家の動向とは乖離してしまっていることは把握している。
	上田委員	私もほぼ同意見。令和3年の空き家の調査で、前回調査で空き家となっていた物件を調査したが、半分ぐらいが売れたり、利活用されたりしていたので、合志市内の不動産の空き家取り引きの本当の実態はもっと活発だと感じた。
	田中尚人 委員(会長)	KPIに行政が把握できる数字だけを設定し、本当の実態を表していないという点に問題はないのか。
	事務局 宮崎	そのような反省点を活かし、3期の計画では、目標に対してしっかり成果が図れるような指標を設定させていただきたいと考えて作成している。民間の数値については例えば、商工会や協議会等から数値を提供してもらえるものに関しては使用できるが、全てはなかなか難しいと考えている。
	田中尚人 委員(会長)	行政が取っているデータだけよりも、公民連携をして、民間の方と自治体の数字を合わせて、本当の合志市の姿を見せるべき。それに今のままだと行政の方の負担だけ増えてしまう。やはり正確な実態を捉える方がいいかと思うのでぜひそのような取り組み方を検討していただきたい。

②第3期総合戦略の素案について	
池永委員	総合戦略の第2期と第3期で大きく変わるところはあるか。
事務局 宮崎	新しく追加されたところとして、15ページの基本目標4「魅力的な地域をつくる」の基本的方向4-2「安心して暮らせる生活環境を創生します」の部分で、安全・安心についての内容が追加されている。第2期の戦略では、公共交通や国土強靱化計画について短く書かれていたが、第3期では、「安全・安心に暮らせる生活環境を創生する」ためには具体的にどういった施策を行うのかということを書いている。 もう一つが、『地方創生2.0の「基本的な考え方」』という国の地方創生の今後の方針が示されたため、11ページの2-2-4に反映している。 女性起業家数などは、第2期でもKPIとして使用していたが、今回はさらに進化させて、「若者・女性にも選ばれる地域」、「若者・女性が活躍できる地域」をつくる、という内容にしている。
田中尚人 委員(会長)	熊本県が抱える渋滞問題について、なかなか合志市単独で解決できる問題ではないと思うので、県をはじめ菊陽町や大津町など、近隣市町村との連携が欠かせないと思うが、そういったことも書かれているか。
事務局 宮崎	10ページの基本目標2「合志市への人の流れを作る」の中の、2-1-2「広域幹線道路である国道・県道の整備や機能強化が早期実現するよう要望を行い、国や県、近隣自治体と連携し、幹線道路ネットワークの機能強化に取り組みます。」として記載している。
松原委員	幹線道路整備というと長期的中期的な話になるかと思う。レターバスと他の公共交通機関の乗り継ぎがしやすいように運行時刻を改訂することや、例えば、菊陽町が実証実験している「チャリチャリ」の導入を検討するなど、身近にあるサービスを進めていくとよりリアルに物事が進んでいくのではないかと思う。
事務局 佐藤課長	本市の公共交通については、今年の10月からコミュニティ交通の再編を行う予定。JRなどに繋げて、皆さんが合志市に来やすい、合志市から市内に行きやすいような環境整備を整えていく段取りをしているところ。 また「チャリチャリ」の導入については、令和5年度に協議を行っている。しかし、本市は坂が多く地域的に難しいのではないかとサービス提供者側から言われており、道幅が狭く安全ではない箇所もあるので、そういった点も含めて検討し、できる範囲で進めていきたいと考えている。
松原委員	実証実験をして、ニーズがあることを示せば、次のステージに進めると考える。
上田委員	10ページ、基本的方向2-1「円滑に移動できる賑わいのあるまちを目指す」で、KPIに「舗装維持管理計画の進捗」80%を設定した理由を聞きたい。 2点目に、2-1-4「御代志駅周辺の開発に伴い、中小企業と小規模事業者の活力強化と賑わいの場創出に繋がる取り組みを行う」とあるが、未だに御代志の駅前だけが市街化区域であと全部調整区域なので、中小企業が事務所を作ることもできない状態。そのため具体的な施策に、「都市計画の見直し」を入れないと基本目標や基本的方向を実現しにくいと感じた。
事務局 宮崎	KPIとしている「舗装維持管理計画（5ヶ年）の進捗」については、市総合計画の78・79ページ、施策21「計画的な道路の整備」に掲載されている目標を使用している。指標や目標値について建設課に確認したところ、舗装維持管理計画（5ヶ年）は5年ごとに設定するもので、総合戦略や総合計画の計画年度とはずれてしまうということが分かったため、他に何か指標がないか検討したい。 また、2-1-4についてはご指摘のとおり御代志駅周辺が調整区域なので、記載方法を見直したい。
事務局 佐藤課長	2点目の、2-1-4の箇所については内部的に見直しを行っていく。
松原委員	7ページの基本目標4の「魅力的な地域をつくる」について。数値目標としている「ふるさと納税額」は令和4年度と5年度であまり変化がない。ここで目標額を決めてしまうよりも、商品、商材、パッケージなどの魅力を発掘するような見方をした方が、現実的に進んでいくのではないかと思った。
事務局 宮崎	数値目標の内容も含め、担当課と相談し検討する。
田中尚人 委員(会長)	第2期を策定したときはコロナ禍の最中で大変だったのではないと思う。その時と比べて今回の第3期の案は、合志市として考えている施策の内容などがより反映されていると考えてよい。
事務局 宮崎	今回、第3期の総合戦略を策定するにあたって、多くの部分で本市の総合計画を基に作成している。また、この総合戦略は総合計画と一体となって推進する計画としており、地方創生という観点で市が行っていく施策が反映されている。

田中尚人 委員(会長)	全国的に人口が減っている中、地方創生では、地域らしさを考えてチャレンジすることを求められている。合志市は全国的にも珍しく人口が増えているが、順調に人口が増えているからこそ、チャレンジするチャンスを無くしているという見方もできる。今後、人口が減ったり災害が起きる場合もある。 人口が増えている市としての施策もいいが、その裏で進行している問題にも目を向けてモニタリングをしていかないといけない。例えば、若者が出ていくという問題は改善していないので、そういった問題について先を見据えて戦略を練っていくべきだと思う。また、職員の引き継ぎが大事だと考える。第2期や第3期を作ったときにこんな問題点があったということや、こんな意見が出たということを記録して、第4期を作る時にそれを見直せるといい。そのような引き継ぎがルーティンにできたら、効率的により良い計画が作れると思った。
事務局 宮崎	第2期の効果検証や、第3期の4ページにあるように、人口は増えているけれど実は出生数が減っているという問題があり、田中会長が言われた「裏で進行している問題」はお見込みのとおりである。 本市においても今回、基本目標3「結婚出産子育ての希望をかなえる」で、施策を掲げているところ。こども部を設立し、こども家庭支援センターも設置し、連携中枢都市圏等での結婚支援等も始まったため、引き続きさまざまな支援をしてけたらと考えている。 また、業務については、次期計画策定の際に次の担当者が迷わないよう、しっかり記録を残し、引き継ぎをしていきたい。
坂梨委員	基本的方向1-2「稼げる農業を確立する」については、持続可能を念頭に考えないといけない。作って流通して売ってお金に返ってくる。これがずっと回ることが、持続するという結果に繋がっていくだろうと思う。農業の分野では、良い商品を作っても多くの農家が販売を他に委ねている実態があり、生産者の思いを消費者や消費地まで伝えられていない。また、消費者や消費地の思いが生産者に反映されていないところもある。これは要望となるが、合志市のブランド商品を作っていく協議会があり参画している。一つ一つの商品はとてもよい品物であるのに、それが単発で終わってしまっている。特に熊本は今注目されているので、そういった機会を逃さないように、もっと多くの人に広がるような継続した発信ができればいいなと感じている。
田中尚人 委員(会長)	熊本県は農業県でもあり、1次産業は大事だと思うので、今のご指摘は非常に大事だと思う。 また他に、教育の分野が薄いと感じる。合志市らしさやピックプライド(郷土愛)を育む内容をいれてはどうか。
事務局 佐藤課長	ご指摘の教育の部分は、郷土愛を育む内容の追加について検討する。